

Meeting #03 Live Performance

Polymorphism

コンポジションにおける「集団即興」という装置

2023.04.09.sun, 2023

14:00-20:00 (1h30m x 3)

@クリエイティブセンター大阪
製図棟1F ブラックチェンバー

関西を拠点に様々な方面で活動する音楽家・美術家が集い、単なる即興演奏ではなく、コンポジションの中で集団即興が一つの装置として機能する表現を試みる。ステージは存在せず、様々な場所に演者が位置し、それぞれの場所から音を発生させる。各演者は時間を共有し、時間軸の中に置かれた様々なテーマに沿って集団即興を演じていく。

キュレーション: 日野浩志郎 (音楽家・作曲家)

作曲・構成: DODDODO (音楽家)

出演: 関口大和 (自作楽器、electronics)、梅田哲也、立石雷 (笛、太鼓)、石原只寛 (sax electronics)、

カメイナホコ (keyboard、etc)、Juri Suzue (electronics)、1729 (DJ)、角矢胡桃 (electronics)、Flagio (Kontrabass)、

山内弘太 (guitar)、山本信記 (Trumpet、electronics)、田上敦巳 (electronics)、吉田ヤスシ (vocal、electronics)、

DODDODO (electronics) VJ・Lighting: catchpulse

臨界の創造論II

EX-POSITIONING OVER 2025

'04-'34

Vol.06

NAMURA ART MEETING '04-'34 (NAM) は、2004年～34年までの30年を芸術のひと連りの現場ととらえ、芸術活動と隣り合う社会や個人が<出来事>を共有し、未来を創造するという実験である。これまで第一線で活躍する知識人やアーティストなどを招いたシンポジウム、展覧会、パフォーマンスなどを、連続した時間を凝縮する「ART MEETING」という独自の形式で行ってきた。

温暖化、パンデミック、戦争と続く2020年代。いまあらためて足元を見つめ直し、世界的困難の先、その臨界に望む創造とは何かをここから問い、未来を眼差す機会を求め「MEETING」を開催する。2004年のNAM始動後、さまざまに派生、蓄積が進んだ北加賀屋地域の創造拠点やアーティストらと連携するとともに、この20年をふりかえりつつ、大阪で開催されるEXPO2025のその先を来場者とともに思考/志向する。

Meeting #01

「EXPO2025大阪関西万博における芸術・文化の創造性」

14:30 - 16:00 @製図棟4F ドラフティングルーム

伊東豊雄 (建築家)、藤村龍至 (建築家・東京藝術大学准教授/RFA主宰)

Meeting #02

「現状報告 — 大阪のアートの現場から」

16:30 - 18:30 @製図棟4F ドラフティングルーム

家成俊勝 (建築家)、笹原晃平 (アーティスト)、多田智美 (編集者)、塚原悠也 (アーティスト)

モデレーター: 山本浩貴 (文化研究者)

2023.04.09.sun, 2023

@クリエイティブセンター大阪